

# メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.282 2019.8.30

## 県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 8月25日(日曜日)放送「主要会派代表者に聞く2」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、8月25日(日曜日)に放送した「主要会派代表者に聞く2」の内容をお伝えします。

**こんにちは  
県議会です**  
主要会派代表者に聞く②

[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

### INDEX



#### 県議会広報

こんにちは県議会です  
「主要会派代表者に聞く2」

- 埼玉民主フォーラム 田並尚明代表
- 埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長



#### 県議会アラカルト

夏休み親子参加イベント「議事堂見学会と投票体験」を開催



#### 議事堂の花

生け花のご紹介



### 県議会広報

#### 【こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く2」】

〈埼玉民主フォーラム 田並尚明代表〉

北第5区 熊谷市選出  
平成19年、埼玉県議会議員初当選(現在4期目)  
今年5月、埼玉民主フォーラム代表に就任

代表 県民の皆さま、こんにちは。埼玉民主フォーラム代表の田並尚明です。4月の統一地方選挙の結果、新しく仲間を迎え12人で新たなスタートを切り、第3会派となりました。ご支援を頂いたことに対し、感謝申し上げます。



—会派名を「埼玉民主フォーラム」に改めたのですね。—

代表 私たちの会派は立憲民主党、国民民主党、市民ネットワーク、それぞれに所属する議員で組織されております。しかし、もともとは同じ政党、または、支援してくれた仲間です。国レベルで見ると別々の政党への所属となりますが、仲間で話し合った結果、県議会では一人でも多くの県民の皆さまの声を県政に届けるために一つの会派でやっつけよう、ということになり、あえて政党の名前を入れず埼玉民主フォーラムという名称にしました。

—代表として、会派をどのように運営していこうとお考えですか。—

代表 これまでもそうでしたが、とにかく議論をしていこうと思っています。選挙で選ばれた地域の代弁者として、新人もベテランも関係なく、会議では徹底的に議論をしていこうと。そして、結果が出たら一つにまとまる。まずはそこを重視していきたいです。

—新しい会派で初の定例会となった6月定例会は、どのような体制で臨まれたのですか。—

代表 6月定例会では、わが会派から3期目の水村議員と新人の辻議員が一般質問に登壇しました。2人とも現場の声をしっかりと県政に届けることができたのではないかと考えています。質問の調査段階においては、会派で視察に行ったり、質問議員に資料を提供するなどしました。本当にチームワークの良い会派だと思います。



—6月定例会では県庁舎建替え等検討特別委員会が設置されました。—

代表 正直びっくりしました。確かに、そろそろ考え始めなければならない時期には来ていると思います。しかし、莫大な予算が掛かる事業ですから、まずは執行部で案を練り、それを議会で議論していくというのが正しいプロセスなのではないかと考えています。議会はチェック機能を果たすとともに、さまざまな提案をしていくことも大切だと思っておりますが、県庁舎の建て替えに関しては、まず執行部の意向を十分に踏まえた上で検討すべきものであると思います。

—上田知事の最後の議会となりましたね。—

代表 正直言って、寂しいですね。しかし、知事本人の決断ですから、本当にお疲れさまでしたと言いたいです。この4年間、いわゆる多選自粛条例をめぐって議会でも賛否両論がありました。選挙で選ばれたという県民

の意思を重く受け止めるべきであるとも思います。もちろんわれわれも知事が提出する議案をすべてうのみにして賛成してきたわけではありません。時には激しく対立したこともあります。それでも、県民のためにどうすべきかという考え方や見ている方向は同じだったと思っています。その中のぶつかり合いというか、議論でしたので楽しかったですね。

—今後、会派として、どのようなことに力を入れて取り組んでいこうとお考えですか。—

代表 たくさんありますが、中でも医療と福祉の分野が特に大切だと考えています。小児医療センターでは移転を契機に小児集中治療室を新設し、集中治療に長年携わり豊富な経験を持つ医師に着任していただくなど、救命救急医療体制を強化しました。また、循環器・呼吸器病センターでは今年度から脳神経センターを設置し、脳卒中患者の治療法を拡充しました。高度な治療ができる病院でないと医師が集まりにくいという現状の中、県の総合医局機構や奨学金制度の効果を十分に発揮させることができれば、本県の医師不足の解消に期待が持てるのではないかと考えています。また、本県は全国一のスピードで高齢化が進むと予測されていますので、日本一高齢者が住みやすい県にするための福祉施策を積極的に推進していくべきです。



そして、いよいよ来月、ラグビーワールドカップが開催されます。このビッグチャンスを生かして、埼玉の魅力を世界中にアピールしていきたいと思っています。

—今後の抱負をお聞かせください。—

代表 県民の皆さまに、本当に埼玉に住んで良かったと思っていただける県にしていくことが、われわれの存在意義であると思っています。皆さまに身近に感じていただける県議会になるよう精進してまいります。これからもご指導のほど、よろしくお願いいたします。

[▲トップへ](#)

#### 〈埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長〉

西第1区 所沢市選出  
平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在6期目)  
平成23年、埼玉県議会公明党議員団団長に就任

団長 県民の皆さま、こんにちは。埼玉県議会公明党議員団団長の西山淳次です。日ごろからわが党に対しまして、大きなご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。

公明党議員団は新人2人を加えて9人で今任期を出発しました。これからも公明党らしさをしっかり発揮して、県民の皆さまの期待にお応えしたいと決意をしています。何とぞよろしくお願いいたします。



—「公明党らしさ」とはどのようなことですか。—

**団長** 私たちが常々心掛けているのは、政策を考えるのにも、机の上だけではなく、現場に足を運び、直接、自分の目と耳で確かめる現場主義。生活者の目線から物事を判断する県民目線。そして、困っている人、弱い立場の人に寄り添っていくこと。こうした姿勢が公明党らしさであると考えています。

—これまで、具体的にどのようなことに取り組まれてきたのですか。—

**団長** 例えば、わが党は、災害時に避難所となる学校体育館へのエアコン設置という政策を掲げていますが、これは昨年の夏の西日本豪雨災害を教訓にしたものです。県議団として、被災後間もない岡山県真備町の避難所を視察しましたが、エアコンのない体育館はあまりの暑さで体調を崩してしまうような状況でした。現場に行ったからこそ、避難所へのエアコン設置の必要性を痛切に感じる事ができたと思います。



—現場に行かなければ分からないという考え方は大切ですね。そして、県民目線についてはいかがですか。—

**団長** 県民目線もわが党の重要な判断基準です。先の6月定例会で政務活動費のインターネット公開に関する検討会が設置されましたが、こうした取り組みも県民目線でしっかり進めるべきと考えます。この夏には新たな知事が誕生しますが、どなたが知事になられても、公明党は健全な庶民感覚といえますか、良識を基準に、是々非々の判断をしていきたいと思えます。

—困っている人、弱い立場の人に寄り添うという点についてはいかがですか。—

**団長** 大変な状況にある人たちを応援していく。これはもう、政治の一つの原点だと思います。しかしながら、財源は限られている。その中でどう知恵を出して、工夫していくか。例えば、生活困窮家庭の児童生徒の学習支援という本県のユニークな政策が、公明党の国会議員が取り上げたことにより全国の制度として横展開されました。素晴らしいことだと思います。福祉の分野では、子どもの貧困をはじめ、障害者の雇用、児童虐待、認知症患者の増加など、重要な課題が山積しています。「福祉の党」公明党として、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

—ほかに、重点的に取り組んでいきたいテーマはありますか。—

**団長** 急速な高齢化と人口減少という社会構造の変化にどう対応していくのかは、当然、最重要課題だと認識しています。このため、わが党は数年前から地域包括ケアシステムの整備をはじめ、介護や保育の人材確保策、施設の整備、増加する認知症への対応などを最重要政策として訴え続けてきました。これらの課題についていち早く声を上げ、県政をリードしてきたと自負しています。



急速に高齢化する社会では、福祉や医療の面だけでなく、高齢者の移動手段の確保や地域コミュニティの在り方といった街づくりにも影響を及ぼし

ます。近年は地域共生社会という新しい考え方も生まれてきました。社会の変化を前向きに捉えた街づくりを進めていければと思います。

また、新たな時代への対応という点では、だんだん理解が進みつつあるSDGs(持続可能な開発目標)の理念を県政にしっかり根付かせていきたいと考えています。特に、深刻化しておりますプラスチックごみ削減については力を入れていくべきと思います。

—教育の分野にも積極的に取り組まれていますね。—

**団長** 新しい未来を築いていくために最も大事な分野が教育だと思います。中でも力を入れてきたのが、教員の過剰な負担の軽減、働き方改革ですね。それと、学校を地域に開いていくコミュニティスクールの着実な推進です。わが党はあくまでも、日々教育現場で奮闘しておられる先生方の応援団としてこれからも頑張っていく決意です。

—最後に、公明党が目指すものを教えてください。—

**団長** わが党は「バラスト」のような存在でありたいと思います。バラストというのは船に備えられている重しのことですが、このバラストがあれば嵐に遭っても船には復元力が働きます。「埼玉丸」のバラストとしての役割を果たしていきたいと考えています。

[▲トップへ](#)

## 県議会アラカルト

### 【夏休み親子参加イベント「議事堂見学会と投票体験」を開催】

令和元年8月9日(金曜日)、県議会の議事堂で、小学生の親子を対象とした「議事堂見学会と投票体験」を開催しました。

今年は、午前の部と午後の部を合わせて85名が参加し、県議会の歴史や仕組みについて楽しく学びました。




また、埼玉県選挙管理委員会による投票体験では、実際に選挙で使われている素材の用紙や機材を使い、模擬投票を行いました。



[☆当日の様子など詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

[▲トップへ](#)

 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

---

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：  
8月5日～8月9日  
作者：  
池坊 青木孝雄様  
花材：  
トキワロウバイ、ドウダンツツジ、リョ  
ウブ、コバノズイナ、トラフアナナス、  
クルクマ、スカシユリ、ナデシコ、タマ  
シダ、オクロレウカ、オキナワシャガ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈池坊 青木孝雄様〉

Q:トキワロウバイの枝葉が揺れ、涼しげですね。

A:大きく枝垂れるトキワロウバイの枝は一本一本がとても細く、繊細な印象を受けます。ロウバイから漂う爽やかな香りと相まって夏の暑さを忘れさせてくれそうです。

Q:作品の構成について教えてください。

A:これは立花新風体という様式です。トキワロウバイをはじめ、トラフアナナスやコバノズイナなど多様な花材を用いています。特に右手のトキワロウバイが涼しげな雰囲気醸すのに対し、左手に力強い印象を与える真っ赤なトラフアナナスや青々とした葉を生け、対比を表現したのがポイントです。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会のホームページでご覧になれます。》

**【注意】**

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

**【お問い合わせ】**

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

